
■■■■ 福祉社会学会ニュースレター 第50号 ■■■■
Japan Welfare Sociology Association Newsletter No.50

<http://jws-assoc.jp/>
E-mail: maf-ws@mynavi.jp

***** INDEX *****

- 福祉社会学会・第16回大会のテーマとコーディネーターの募集について（2月28日締切）
- 福祉社会学会・第16回大会自由報告の募集について（4月30日申込締切予定）
- 現在非会員で大会報告をお考えの方に
- 理事会報告
- 新入会員の紹介
- 外部国際学会の御案内
- 事務局からのお願い

■福祉社会学会・第16回大会 テーマセッションのテーマとコーディネーターの募集について

福祉社会学会第16回大会は本年6月16日（土）・17日（日）に中京大学にて開催予定です。大会のテーマセッションについてお知らせします。

テーマセッションはコーディネーターを中心に報告部会を企画していただくもので、コーディネーターには、報告者・報告順の決定、および当日の司会進行を行なっていただきます。テーマセッションは研究委員会に企画書を提出していただき、その採択・承認をもって成立します。採択の結果については締切後1週間以内にお知らせいたします。

テーマセッションは以下の3種類です。

- (1) 会員から報告者を公募する公募型テーマセッション
- (2) 報告者を公募しない、会員による自主企画セッション
- (3) 非会員の報告者を含めた拡大セッション

(1)の報告者公募型テーマセッションは、企画が採択された場合に3月9日に発行予定のニュースレターで会員から報告者を公募します。コーディネーターは応募者の中から報告者を選定し、部会編成を行います。部会が成立しなかった場合や報告が採択されなかった場合は、大会の自由報告部会で報告することができます。

(2)は自由報告の一部会の扱いになります。自由報告申込み時に企画書（公募型、拡大セッションの企画書に準じたもの）を一緒に提出ください。

(3)は非会員を報告者を含めたセッションです。コーディネーターは会員である必要があり、報告者となる非会員には大会参加費を支払うことが求められ、その招聘や大会参加に伴う費用はコーディネーターが責任をもつものとします。拡大セッションは報告者の公募を含めることもでき、その場合には公募型と同様な募集を行います。

公募型テーマセッション、拡大セッションの企画書について

- ・締切：2月28日（水）
- ・申し込み先アドレス：fukushisyakai★googlegroups.com（←★を@に変えてください）
- ・企画書の内容：下記の事項および「テーマセッション・コーディネーター申込み」であることを明記した企画書をお送りください。
- ・テーマセッションの種類／所属／連絡先（住所・電話番号・電子メールアドレス）
- ・テーマ（そのまま部会名となります）
- ・拡大セッションの場合、非会員の報告者の氏名・経歴・研究歴などの情報
- ・部会趣旨（800字程度。承認された場合は、ニュースレターにそのまま掲載されます。）

テーマセッション申し込みをされた方に対しては、受理通知を電子メールで返信します。申し込み後2日を過ぎても返信がない場合は、研究委員長の上野加代子にご連絡ください（icf31837★nifty.com ←★を@に変えてください。または、09092570263）。

■福祉社会学会・第16回大会 自由報告の募集について

本年6月16日（土）・17日（日）に中京大学にて開催予定の第16回大会の自由報告募集のお知らせです。3月9日に発行予定の学会ニュースレターにて正式な案内を行いますが、報告申込と予稿集原稿の提出締切はいずれも4月30日（月）の予定です。申込書と予稿集原稿の提出の締切が同一日程に設定されていますので、ご注意ください。なお、いずれも電子メールのみの受け付けとなりますので、あらかじめご了解ください。

また、電子メールでニュースレター配信を受けておられる会員の方々には、3月9日に発行予定の学会ニュースレターは通常どおりメール配信のみとなります（郵送されません）。自由報告申し込みを検討される場合は、この時期のメールおよび本学会のWEBページに掲載される大会WEBページ（3月9日に更新予定）にご注意いただき、締切などのお見落としのないようお願いいたします。

学会WEBページのURLは次の通りです。<http://jws-assoc.jp/>

■現在非会員で大会報告をお考えの方に

次回の本学会への入会承認は6月大会時に開催予定の理事会となりますが、現在非会員で大会報告申込をお考えの方も、以下の手続きによって御報告（自由報告、テーマセッション報告）いただくことが可能です（共同報告で、現在非会員の方が含まれる場合も同様です）。

(1) 報告は会員であることが条件となりますので、大会報告申込締切時点の4月30日（月）必着で福祉社会学会事務局（〒464-8601名古屋市千種区不老町780 名古屋大学環境学研究科 上村泰裕研究室）あてに入会申込書を御郵送下さい。その際、「大会報告申込希望」であることを明記して下さい。

(2) 同時に、大会報告申込も、申込要領に従って4月30日（月）までに研究委員会あてに申し込んで下さい。その際、「事務局に入会申込書送付済」と明記して下さい。

(3) 庶務理事と理事会幹事会で入会申込書を確認したうえで、仮入会の形とさせていただきます。この時点で追加の確認事項や調整などが必要になった場合は、庶務理事（上村泰裕）より連絡を取らせていただきます。

(4) 同じく4月30日（月）提出締切の予稿集原稿を御用意いただき、研究委員会あてに電子メールでお送り下さい。

9月締切予定の学会誌『福祉社会学研究』への投稿には6月大会時の理事会での入会承認が必要となりますので、現在非会員で投稿を御希望の方はお間違いのないようお願いいたします。

■理事会報告

福祉社会学会 2017年度 第2回理事会議事録（一部省略）

2017年12月16日（土）14～16時 上智大学2号館15階社会学科会議室1（2-1530b）

出席：安立、天田、上野、上村、亀山、菊池、金、鎮目、下夷、田淵、寺田、平岡、藤村、宮垣

欠席：阿部

0. 冒頭、藤村会長より挨拶があった。
1. 第16回大会を2018年6月16日（土）～17日（日）に中京大学豊田キャンパスで開催する予定であることが報告された。
2. 上野研究委員長より、第16回大会のシンポジウム「『市民』の境界と福祉」の企画が進んでいることが報告された。
3. 下夷編集委員長より、学会誌第15号の編集状況について報告された。特集は「福祉社会学とソーシャルワーク」。第15号の編集作業の経験をふまえて執筆要領の改正を提案する予定である。第16号は特集1「『市民』の境界と福祉」と特集2「市民福祉の制度化」を予定している。
4. 社会学系コンソーシアム評議員の安立理事より、コンソーシアムの英文ニューズレターに掲載予定の学会紹介文について経過報告があった。
5. 社会政策関連学会協議会協議員の菊池理事より、シンポジウム（詳細未定）に関する説明があった。
6. 田淵学会賞選考委員長より、次回理事会までに5名の選考委員を選出する予定である旨の説明があった。
7. 第15回大会の開催校・日本社会事業大学の菊池理事より、大会会計の報告がなされた。
8. 事務局報告として入会希望者1名の入会申請書が報告され、入会が承認された。また、鎮目財務委員より、ゆうちょダイレクトに大会用口座を開設した旨の報告があった。
9. 下夷編集委員長より、『福祉社会学研究』のJ-Stageへの登載申請が提案され、承認された。学文社に作業を委託し、冊子体発行から1年後に公開することとされた。
10. 第17回大会を明治学院大学で開催することについて金理事より内諾を得ていたが、全会一致で承認された。
11. 理事の任期と定数について、会則を変更した場合のシミュレーションの概要が事務局より報告され、会則を変更しない方針が承認された。
12. 次回理事会を2018年6月16日11:30～12:45に中京大学豊田キャンパスで開催することが決定された。

■新入会員の紹介

(Web版では省略)

■外部国際学会の御案内

【第15回東アジア社会政策会議 (EASP)】

日時 2018年7月5～6日

会場 英国ブリストル大学

要旨締切 2018年3月12日

基調講演者

Professor Ann Berrington (University of Southampton)

Professor Ian Gough (London School of Economics)

Professor Ito Peng (University of Toronto)

Professor Jae-Jin Yang (Yonsei University)

<http://welfareasia.org/archives/190>

【第14回アジア太平洋社会学会】

日時 2018年10月5～7日

会場 星槎大学箱根キャンパス

要旨締切 2018年3月31日

<https://apsasociology.wordpress.com/2017/12/06/apsa-2018-call-for-abstract>

■事務局からのお願い

住所やメールアドレスを変更された場合は、毎日学術フォーラム福祉社会学会係 (maf-ws@mynavi.jp) までお知らせ下さい。

【発行・編集】 福祉社会学会事務局